

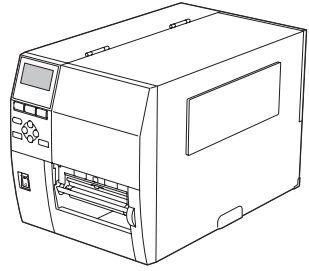


TEC

取扱説明書

テック ラベルプリンタ

B-EX4T1-TS35-S



- このたびは本機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ず読んで、正しくお使いください。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

安全上のご注意(安全にお使いいただくために)

お買い上げいただきました製品(本機)および取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

■表示の意味

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみが発生が想定される内容を示しています。

- ※1: 重傷とは失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- ※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

注意 △は、注意(警告を含む)を促す事項を示しています。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示しています。

禁止 ⊘は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。

強制 ●は、必ずしてほしい行為(強制事項)を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。

プラグを抜く

警告

交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の恐れがあります。

電源コードは本体付属品を使用すること
付属品以外の電源コードを使用すると、火災の恐れがあります。また、本機以外の機器に付属の電源コードを使用しないでください。

タコ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと
電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。

必ずアース(接地)すること
万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース(接地)を行わないでください。

電源コードを無理に曲げたり、傷つけたり、引っぱったり、重い物を乗せたり、加熱したりしないこと
電源コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、電源コードを傷つけたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

濡れた手で本機を操作したり、電源プラグを抜き差ししないこと
濡れた手で操作すると、感電の恐れがあります。

分解や改造、ご自身での修理はしないこと
火災・感電の恐れがあります。点検や修理については、お買い上げの販売店にご連絡ください。

警告

本機の上に液体の入った容器やアクセサリなどの金属類を置かないこと
こぼれて中に入ると、火災・感電の恐れがあります。

万一、煙が出たり変な臭いがしたときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

本機の内部にクリップなどの金属類、液体、燃えやすい物などを落としたり、差し込んだりしないこと
配線がショートし、火災・感電の恐れがあります。

万一、異物(金属片・液体)が本機に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないこと
カバーなどが破損し、火災・感電の恐れがあります。

万一、本機を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

水がかかる場所で使用したり、水に濡らさないこと
火災・感電の恐れがあります。

製品の周辺で、可燃性のスプレーなどは使用しないこと
スプレーガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、爆発および火災の原因になります。

注意

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込むこと
確実に差し込まないと、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと
電源コードを引っぱると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること
ほこりがたまる、火災の原因となることがあります。

移動するときは、電源コードや他の接続コードを抜くこと
接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと
感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと
火災の原因となることがあります。

注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる暑い場所に置かないこと
内部の温度が上がったり、絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所に置かないこと
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かないこと
絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。

本機をキャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをすること
動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

通風口をふさがれないこと
通風口をふさぐと内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

本機の上に重い物を置かないこと
置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

注意

冷気が直接当たる場所に本機を置かないこと
露がつき、火災・感電の原因となることがあります。

本機を子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置かないこと
感電・けがの原因となることがあります。

本機を移動するときは、必ず2人以上で行うこと
1人で移動しようとする、けがの原因となることがあります。

プリンタのヘッド部および用紙搬送部周辺は、高温になっている場合があるので手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

取扱説明書で指定する箇所以のカバーの開閉、点検、清掃、消耗品の交換などはないこと
感電・けがの原因となることがあります。

シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーで本機を清掃しないこと
火災の原因となることがあります。

お願い

本機を正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

●急激な温度変化を与えないでください。 結露が生じ、故障・誤動作の原因となります。	
●ほこりの多いところ、振動が強いところに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。	
●直射日光の当たるところ、熱器具や調理台のそば、水や油煙のかかるところには置かないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。	
●磁石やスピーカーなど、磁気を発するもの近くに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。	
●テレビやラジオの近くでは使用しないでください。 電波妨害を引き起こす原因となります。	
●本機を落としたりぶつけたり、本機に強い衝撃を与えないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。	
●お手入れをするときは、シンナーやベンジンなどの薬品類を使用しないでください。 変質・変形・変色・故障の原因となります。	
●印字した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。 印字内容の判読不能の原因となります。印字面の堅牢性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。	
●当社指定の用紙を使用してください。 当社指定品以外の用紙を使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。	
●用紙は室温で適度な湿度のところに保管してください。 直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色した用紙を使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。	
●オプション類は当社純正品(指定品)を使用してください。 当社純正品(指定品)以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。	

セキュリティに関するご利用上の注意事項

本製品を安全にご利用いただくため、ご使用前に本説明をよくお読みください。本製品の管理者には、本製品を管理・運用する上で重要な権限が与えられるため、責任をもって管理を行える方を任命してください。

□ 管理者の方へ

・本製品をインターネットなどの外部ネットワークと接続する場合、設定の不備による情報漏洩や、悪意のある不正なアクセスによる影響を防止するため、別途ファイアウォール等で保護されたネットワーク環境でご利用いただきますようお願い致します。

・必ず組織のセキュリティ方針や手続きを理解し、また本製品の取扱説明書を読み管理・運用方法を理解した上で、組織のセキュリティ方針に基づき、本製品および外部機器の管理・運用を行ってください。また、本製品の利用を許可する一般利用者に、セキュリティ上安全な利用方法を説明し、遵守させてください。

・本製品の一般利用者に対して適切な権限を与え、許可された利用者であることを常に確認してください。

・本製品のセキュリティを保つため、設定されたネットワーク機能・ユーザ管理機能が有効になっているか常に確認してください。異常を発見された場合は、すみやかにサービスエンジニアに連絡願います。

・本製品に接続して使用するコンピュータに搭載されているOSやブラウザ等は、常に最新の状態でお使いください。また、本製品の一般利用者にも遵守させてください。

重要なお知らせ

- 本機をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しております。万一、ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- 本機(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、外国の規格などには適合しておりません。本機を日本国外で使用された場合、当社は責任を負いかねます。また、当社は本機に関する日本国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っておりません。
- 本書に記載している会社名、商品名は、各社の登録商標または商標になっている場合があります。

公的規格等について

⚡ 無線機器 (テレビ・ラジオ) の近くでは使用しないでください ⚡

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合

本機は RoHS 指令 (2011/65/EU 及び 2015/863) の特定有害物質使用制限に対応しています。

無線機器に対する使用上のご注意

本機に搭載する無線LANオプションには、無線機能が装備されています。以下の注意事項は、本機の無線機能に対してのみ適用されます。

使用可能地域

無線LANオプションは無線装置であり、使用できる国・地域は日本国内に限定されます。日本以外の国・地域で使用するとその国・地域の法律により罰せられることがあります。

使用時の注意事項

無線LANオプションは、電波法で定められた無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けています。したがって、日本国内のみの使用目的において、無線局の免許は必要ありません。ただし、無線LANオプションを分解・改造すること、証明表示をはがしたりすると、法律により罰せられることがあります。

● **航空機内や病院などの使用を禁止された場所では使用しない**
禁止場所が不明な場合、航空会社や医療機関に確認の上、指示に従ってください。誤って使用すると、運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。

● **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器への影響**
本製品は携帯電話などと比べて非常に小さい電力を使用しており、心臓ペースメーカーや除細動器への干渉の可能性は非常に低いと考えられます。万一、本製品の使用に際して、心臓ペースメーカーおよび除細動器への影響が生じた可能性がある場合、直ちに使用を中止し、医師にご連絡ください。

● **分解・改造・修理をしない**
けがの原因となります。分解・改造は電波法違反にもなります。修理は最寄りのサービスステーションへご依頼ください。

● **電波環境の調査を行うこと**
本機を使用する場合は必ず電波環境調査を行い、運用に支障がないことをご確認ください。電波環境調査については、お買い上げの販売店へご相談ください。

機能について

本製品は、電波を利用して通信を行います。したがって、設置場所、設置方向、使用環境、通信距離などにより通信性能が低下したり、通信障害が発生したり、近くの機器に影響を与えたりすることがあります。

- **電子レンジのそばで使用しないこと**
電子レンジの電波の影響で、通信性能の低下や通信エラーが発生することがあります。
- **金属製の机や台の上、金属物のそばで使用しないこと**
通信性能低下の原因となります。

9

10

11

12

用紙の取り付け方

ここでは、本機に用紙を取り付ける手順について説明します。

本機ではラベルとタグを使用することができます。

用紙は当社認定の純正品をご使用ください。

用紙のご用途および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- ・ **トップカバー**は左側へ倒すように全開にすること
中途半端な状態においておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないことやけがの原因となることがあります。

⚠ 注意

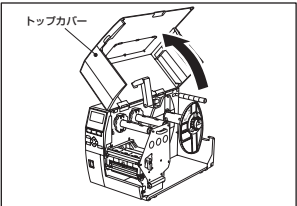
- ・ 初めて使用する用紙を取り付けるときは、システムモードの「センサー調整」で用紙検出センサーの感度調整を行ってください。
- ・ プレ印刷されている用紙を取り付けるときは、スレッシュホールドの設定を行ってください。(→ スタートアップCDROM内の取扱説明書「スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙)」)

📄 補足

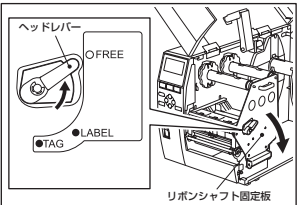
- ・ 用紙には、熱転写用と感熱用のラベルおよびタグがあります。
- ・ 当社認定品以外の用紙を取り付けて印字した場合、その結果に対して当社は一切の責任を負いません。
- ・ 紙管の内径は76.2mmの用紙が使用可能です。

📄 取付手順

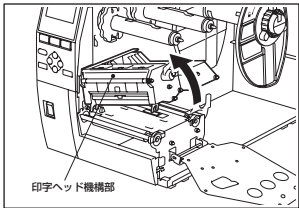
1 トップカバーを左側へ倒すように全開にします。



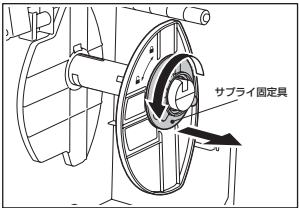
2 ヘッドレバーをFREE位置まで回し、リボンシャフト固定板を静かに右側へ倒します。



3 印字ヘッド機構部を持ち上げます。



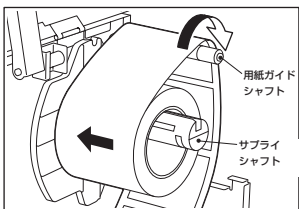
4 サプライ固定具を反時計方向へ半周ほど回して緩め、サプライ固定具をつけたままサプライホルダーを取り外します。



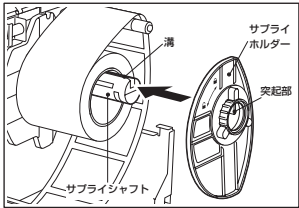
📄 補足

- ・ 用紙交換時は、使用中の用紙または紙管をサプライシャフトから取り外してください。

5 用紙をサプライシャフトにセットし、用紙を用紙ガイドシャフトの後方に通します。



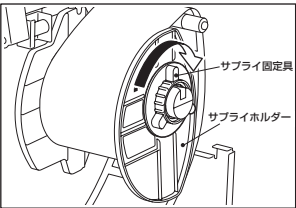
6 サプライシャフトの溝にサプライホルダーの突起部を合わせ、サプライホルダーをサプライシャフトに押し込みます。サプライホルダーを押し込むと、用紙がセンサーの位置へセットされます。



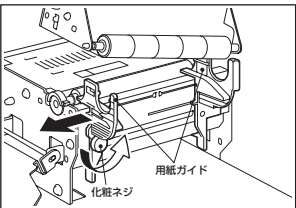
7 サプライ固定具を時計方向に回し、サプライホルダーを固定します。

📄 お留心

- ・ サプライ固定具はきつく締めつけないでください。締めすぎると、ネジ山が破損する原因となります。



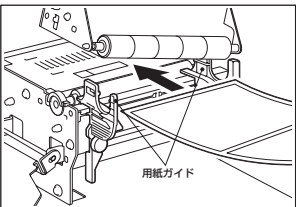
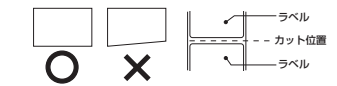
8 用紙ガイドの化粧ネジを緩め、用紙ガイドを用紙の幅より少し広目に広げます。



9 用紙の先端を左右の用紙ガイドの間へ通し、印字ヘッド機構部の下側を通して用紙発行口まで送り出します。

📄 お留心

- ・ ラベルの場合は、ラベルとラベルの間の台紙部をまっすぐに切りそろえてください。



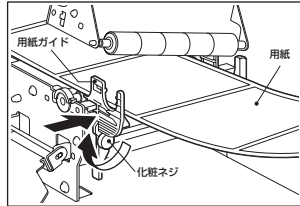
13

14

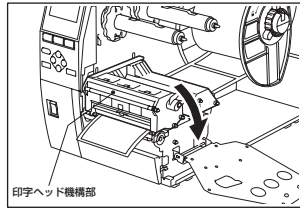
15

16

10 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせ、化粧ネジを締めて固定します。



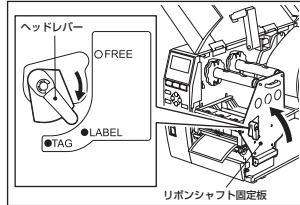
11 印字ヘッド機構部を下げ、必要な場合は用紙検出センサーの位置を調整します。調整手順は「用紙検出センサーの位置調整」を参照ください。



補足

・用紙検出センサーの位置を調整する場合は、リボンを取り外してください。リボンがセットされていると調整しにくくなります。

12 リボンシャフト固定板をセットし、ヘッドレバーをLABELまたはTAG位置に回して印字ヘッド機構部を固定します。



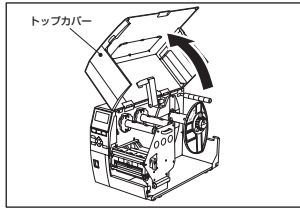
補足

・セットした用紙の厚さに応じ、ヘッドレバーの位置を切り換えてください。
ラベル → LABEL
タグ → TAG
・用紙幅が50mm未満のタグ用紙をセットしたときは、ヘッドレバーをLABEL位置に合わせてください。

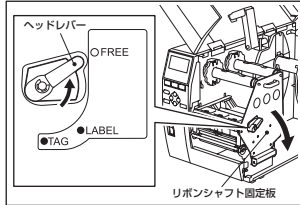
13 トップカバーを静かに閉めます。

リボンを取り付ける

1 電源スイッチをOFFにし、トップカバーを左側へ倒すように全開にします。



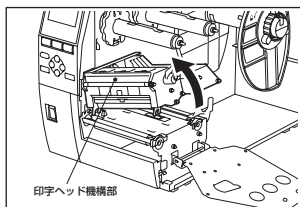
2 ヘッドレバーをFREE位置まで回し、リボンシャフト固定板を静かに右側へ倒します。



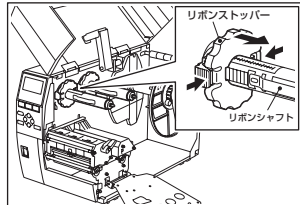
補足

・リボン/用紙経路ステッカーは、トップカバーの内側に貼付されていますので参照してください。

3 印字ヘッド機構部を持ち上げます。



4 リボンシャフト上の目盛りを参考に、取り付けるリボンの幅に両方のリボンストッパーを合わせます。



補足

・リボンは用紙の幅にあったものをお使いください。
・リボンと用紙の幅方向中心が揃うようにリボンの位置を微調整してください。

用紙検出センサーの位置調整について

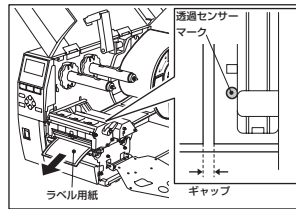
用紙検出センサーの位置は、次の手順に従って調整して下さい。
用紙検出センサーには、ラベルとラベルの間(ギャップ)を検出する透過センサーと、用紙の裏側に印刷された黒マークを検出する反射センサーがあります。
用紙検出センサーを正しい位置に調整しないと、本機は用紙を発行できず、「紙送りエラー」メッセージを表示してエラーとなります。

注意

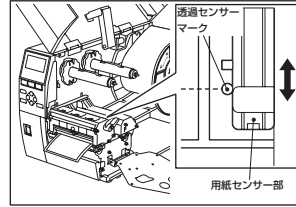
- ・トップカバーは左側へ倒すように全開にすること
中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

透過センサーの位置調整

1 透過センサーの位置マーク(●)の手前にギャップが現れるところまで、用紙を動かします。

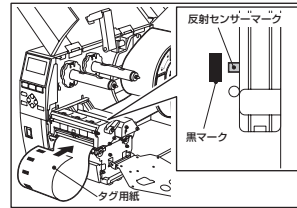


2 用紙センサー部を手で動かし、透過センサーの位置マーク(●)が確実にギャップの上を通る位置に合わせます。

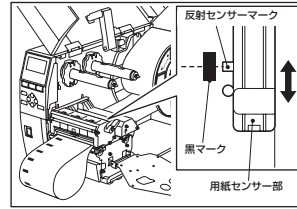


反射センサーの位置調整

1 用紙を約50cmほど引き出し、黒マークが上を向くように折り返します。



2 反射センサー位置マーク(■)の手前に黒マークが現れるところまで、右図のように用紙を後方へ送り込みます。



3 用紙センサー部を手で動かし、反射センサーを黒マークの中心線上に合わせます。



リボンの取り付け方

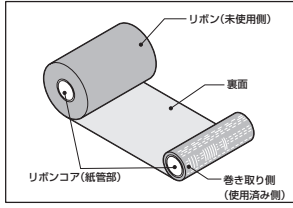
本機は、熱転写/感熱という2種類の印字方式に対応しています。
熱転写方式とは、印字ヘッドの熱でリボンのインクを溶かし、用紙に定着させる印字方式です。
感熱方式とは、発色剤を含んだ用紙に印字ヘッドで熱を加え、発色させる印字方式です。
リボンは用紙幅に対応した、当社認定の純正品をお使いください。
ここでは、本機にリボンを取り付ける/取り外す手順について説明します。

注意

- ・トップカバーは左側へ倒すように全開にすること
中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

お願い

- ・感熱方式で印字するときは、リボンを取り付けないでください。リボンを取り付けて印字した場合、印字ヘッドが破損したり、印字ヘッドに溶けたリボンが付着し、印字ヘッドの交換(有償)が必要になります。
- ・リボンには裏と表(インク面)がありますので、注意して取り付けてください。逆に取り付けて印字すると、印字できないばかりか、印字ヘッドの交換(有償)が必要になります。
- ・途中まで使用したリボンの未使用側/使用済み側の見分け方は、右図を参照してください。新しいリボンの場合、径の太い方が未使用側です。
- ・リボンのインクが手に付着したときは、石鹸等で手を洗ってください。インクには有害物質を含んでいないため、人体には無害です。



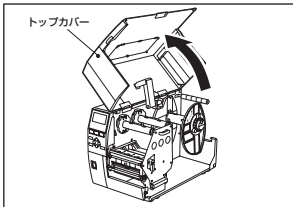
リボン幅	対応可能な用紙幅
41mm	30 ~ 36mm
55mm	36 ~ 50mm
68mm	50 ~ 63mm
84mm	63 ~ 79mm
102mm	79 ~ 97mm
112mm	97 ~ 107mm

補足

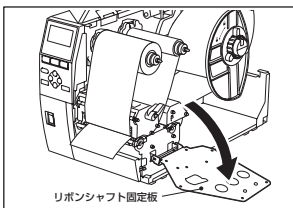
- ・当社認定品以外のリボンを取り付けて印字した場合、当社は一切の責任を負いません。
- ・用紙幅に最適な幅のリボンを用意しています。お買い上げの販売店にご注文ください。

リボンを取り外す

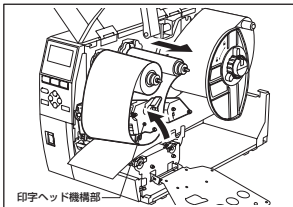
1 電源スイッチをOFFにし、トップカバーを左側へ倒すように全開にします。



2 ヘッドレバーをFREE位置まで回し、リボンシャフト固定板を静かに右側へ倒します。



3 印字ヘッド機構部を持ち上げ、両方のリボンシャフトからリボンを引き抜きます。

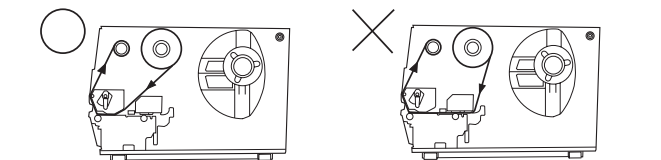


補足

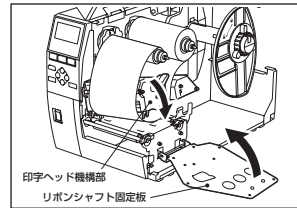
- ・リボンは巻が乱れやすく広がりやすいため、取り外すときは手でしっかり持ってください。

お願い

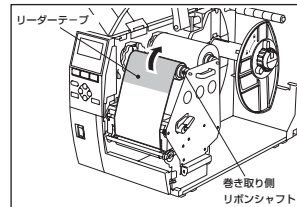
- ・使用済みのリボンを廃棄するときは、各自体の条例等に従って処分してください。法律上は「廃プラスチック」に該当します。ただし、紙管部は段ボールですので分別処分してください。



7 印字ヘッド機構部を下げ、リボンシャフト固定板をセットします。



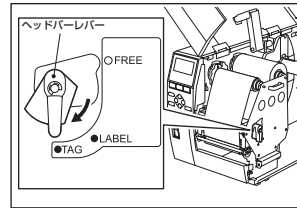
8 巻き取り側のリボンシャフトを時計方向に回し、リボンのリーダーテープ部(銀色部分)を完全に巻き取ります。また、リボンのタルミヤシワも取り除いてください。



お願い

- ・リボンのタルミヤシワを取る時は、必ず印字ヘッド機構部を下げてから行ってください。上げたまま行くと、リボンが切れる原因となります。

9 ヘッドレバーをLABELまたはTAG位置へ回し、印字ヘッド機構部を固定します。



10 トップカバーを静かに閉めます。

日常のお手入れ

いつもきれいな印字が得られるように、定期的(用紙またはリボン交換ごと)に本機の清掃を行ってください。

特に印字ヘッドやプラテン、ピンチローラーなどには汚れがつきやすいので、次の手順で清掃してください。

警告

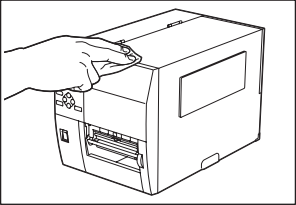
- 水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないこと
内部に水が入ると、火災・感電の恐れがあります。

注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで清掃しないこと
火災の原因となることがあります。
- トップカバーは左側へ倒すよう全開にすること
中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

カバーの清掃

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- カバーの汚れは、乾いた布で拭き取ります。特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。

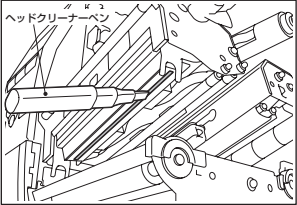
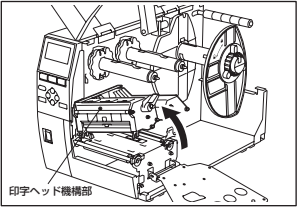


お願い

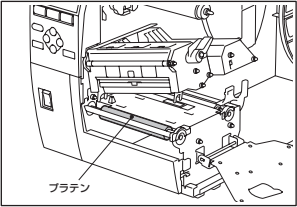
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カバーの変色・変質の原因となります。

印字ヘッド／プラテンの清掃

- 電源スイッチをOFFにし、トップカバーを左側へ倒すように全開にします。
- ヘッドレバーをFREE位置まで回し、リボンシャフト固定板を静かに右側へ倒します。
- 印字ヘッド機構部を持ち上げ、用紙やリボンを取り外します。
- 印字ヘッドの発熱部(網掛け部分)の汚れは、付属のヘッドクリーナーペンで拭き取ります。



- プラテンの汚れは、少量の消毒用エタノールを含ませた柔らかい布で拭き取ります。



仕様

本機の仕様

項目	仕様
型式	B-EX4T1-TS35-S
定格電源	交流100V±10% 50/60Hz
消費電力	印字中:124W (印字率20%時) 待機中:4.5W (パワーセーブ時) 8W以下(印字待機時)
使用温度範囲	5～40℃
使用湿度範囲	25～85% (ただし、結露しないこと)
印字方式	熱転写方式(リボン転写) / 感熱方式(熱直接発色)
印字ヘッド密度	12ドット/mm (約305dpi)
印字速度	76.2mm(30f)/秒、127mm(50f)/秒、203.2mm(80f)/秒、254mm(100f)/秒、304.8mm(120f)/秒、355.6mm(140f)/秒…切換式 ¹⁾
発行モード	連続発行/制離発行(オプション)/カット発行(オプション)
表示方式	128 x 64 ドットグラフィックLCD 最大21桁 x 5行
表示文字	英字、漢字、数字、カタカナ、記号
有効印字幅	最大104mm±0.2mm
印字可能文字種	英/数/カナ カタカナ、英、数字、アルファベット、ローマ字、アスキー、リット、ケリ、OCR-A、OCR-B、ゴシック725ブラック
	漢字 16x16、24x24、32x32、48x48 (角ゴシック) 24×24、32×32 (明朝)
	外字 16x16、24x24、32x32、48x48…各1種、フリーサイズ…40種
	その他 アウトラインフォント…3種、節格フォント…3種
印字可能バーコード	JAN8/13、EAN8/13/128、UPC-A/E、NW-7、CODE39(カナ・ド/加付-)、93/128、ITF、MSI、インダストリアル2of5、RM4SCC、KIX code、POSTNET、GS1 Databar (3/2/1/2含む)、カスターマーバーコード
印字可能二次元コード	Data Matrix、PDF417、QR3+ ²⁾ 、Micro QR3+ ²⁾ 、Maxicode、Micro PDF417、CPコード、GS1 QRコード
インターフェース	シリアルポート×1 (RS-232C標準) ……D-Sub 9f ³⁾ x2 パラレルポート×1 (セントロニクス標準) ……7pin x 36 ²⁾ USBポート×1 (V2.0準拠/V2.0フルスピード対応) LANポート×1 (10BASE-T/100BASE-TX準拠) USBホスト×1 (USB V2.0準拠/フルスピード対応) 無線LAN (IEEE802.11b/g)(オプション) ²⁾ 無線LAN (IEEE802.11a/b/g/n/ac)(オプション) ³⁾
外形寸法	278mm(幅) x 460mm(奥行) x 310mm(高さ)
質量	約17.0kg
オプション(別売)	ディスクカッターモジュール(B-EX204-QM-R) ロータリーカッターモジュール(B-EX204-R-QM-R) 制離モジュール(B-EX904-H-QM-R) 拡張IOボード(B-EX700-IO-QM-R) 拡張LANボード(B-EX700-WLAN-QM-R/B-EX700-WLAN3-QM-S) ⁴⁾ 無線LANボード(B-EX700-RFID-H2-R) 小幅用紙対応プラテンキット(B-EX904-PK-QM-R)

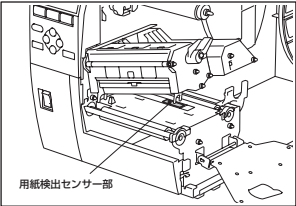
用紙の仕様

用紙には熱直接発色タイプのラベルとタグがあります。用紙は当社認定の純正品をご使用ください。用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

項目	発行モード	連続発行	制離発行 (2)	カット発行		
				ディスクカッター	ロータリーカッター (1)	
					ヘッドアップなし	ヘッドアップあり
用紙幅(ピッチ)	ラベル	10.0～1500.0	25.4～256.0	25.4～1500.0	3 ips: 94.0～1500.0	38.0～1500.0
					5 ips: 102.0～1500.0	
ラベル長	タグ	10.0～1500.0	-----	25.4～1500.0	3 ips: 113.0～1500.0	25.0～1494.0
					5 ips: 81.0～1494.0	
台紙幅(タグ幅)	発色	30.0～120.0	50.0～120.0	30.0～120.0	3 ips: 98.0～1500.0	30.0～107.0
					5 ips: 100.0～1494.0	
ラベル幅	転写	30.0～107.0	50.0～107.0	30.0～107.0		
有効印字長	ラベル	2.0～20.0		104.0±0.2	6.0～20.0	
有効印字長	タグ	6.0～1496.0	21.4～252.0	21.4～1492.0	3 ips: 79.0～1492.0	23.0～1492.0
					5 ips: 87.0～1492.0	
スローアップ/ダウン	スローアップ	0.10 ³⁾ ～0.17	0.13～0.17	0.10 ³⁾ ～0.17	0.10 ³⁾ ～0.17	0.10 ³⁾ ～0.17
					0.10 ³⁾ ～0.263 (30～50mm幅時)	
オンザフライ発行可能な最大有効印字長				749.0		
最大ロール径				φ200(内蔵リワインダ使用時:φ180)		
紙管の内径				φ76.2±0.3		
巻き方向				内巻き(標準)		

*1: 10 ips以上を指定した場合、8 ipsで発行します。
*2: 10 ips以上を指定した場合、8 ipsで発行します。
*3: 認定用紙に限ります。認定用紙以外の最小用紙幅は0.13 mmです。

- 用紙検出センサー部の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。

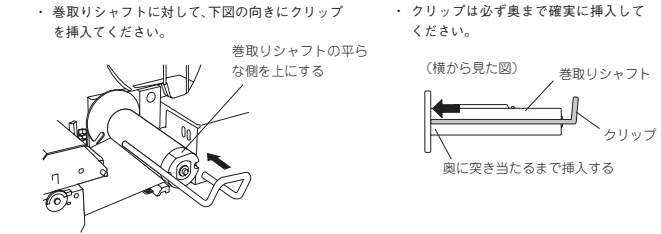


お願い

- 印字ヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印字不良や故障の原因となります。
- 印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、印字ヘッドが破損することがあります。

オプション使用時の注意事項

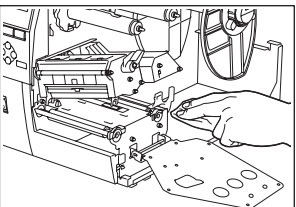
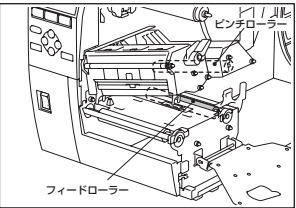
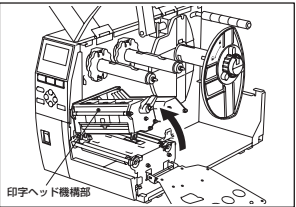
- ロータリーカッターまたはディスクカッターを装着してラベル用紙をカット発行する場合、ギャップ部(台紙部)をカットしてください。ギャップ長は6mm以上必要です。また、カット位置が適切でない場合、「カット位置微調」により調整して下さい。
- ラベル自体をカットして発行することは避けてください。紙詰まりや故障の原因となります。また、カッターの寿命を短くする原因となります。
- ミシン目を入れたラベル用紙を使用する場合は、お買い上げの販売店に詳細をお問い合わせください。
- ロータリーカッターを装着してカット発行する場合は、パラメータ設定の「HU CUT/RWD」を「する」に変更してから用紙をカットしてください。
- カット発行時、用紙がプラテンに巻き込まれる場合は、パラメータ設定の「自動正転待機」を「する」に変更してください。
- 10 ips以上のロータリーカッターによるカット発行はできません。印字速度10 ips以上を指定すると、自動的に8 ipsに補正されます。
- 制離モジュールを装着してラベル用紙を制離発行する場合、ラベルや台紙の材質によっては正しくラベルを制離できないことがあります。ラベルや台紙の材質の詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 制離発行において印字スピード10 ips以上を指定すると、パラメータ設定の「別製処理」の設定にかかわらず別製動作をおこないます。
- 制離モジュールの巻取りシャフトに直接用紙や台紙を巻きつけ、クリップで留める場合、次のことに注意してください。



- 制離モジュールの巻取りシャフトに印刷した用紙を巻き取る(リワインダーモード)場合、ラベルの材質やセットの仕方によってはきれいに巻き取れない場合がありますので注意してください。

用紙搬送部の清掃

- 電源スイッチをOFFにし、トップカバーを左側へ倒すように全開にします。
- ヘッドレバーをFREE位置まで回し、リボンシャフト固定板を静かに右側へ倒します。
- 印字ヘッド機構部を持ち上げ、用紙やリボンを取り外します。
- ピンチローラーやフィードローラーの汚れは、少量の消毒用エタノールを含ませた柔らかい布で拭き取ります。
- ベース上の紙粉や汚れは、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



お願い

- ピンチローラーやフィードローラーを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印字不良や故障の原因となります。

リボンの仕様

リボンは当社認定の純正品をご使用ください。リボンのご用命につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

タイプ	スプールタイプ
リボン幅	41, 55, 68, 84, 102, 112 (mm) (mm)
	リボン幅 41 55 68 84 102 112 適用用紙幅 30～36 36～50 50～63 63～79 79～97 97～107
リボン長	600m
最大ロール径	φ90mm

お願い

- 用紙やリボンは高温、多湿をきらいしますので、涼しい場所に保管してください。
- 用紙やリボンにホコリや紙粉が付かないように気を付けてください。
- リボンを廃棄する場合は、各自治体の条例等に従って処分してください。法律上は「廃プラスチック」に該当します。一般家庭では「プラスチック品」として処分してください。ただし、コア(紙管部)は段ボールとして分別処分してください。

補足

- 当社認定品以外の用紙やリボンを使用して印字した結果につきましては、本体も含めて保証の範囲外とさせていただきます。
- 用紙やリボンの詳細につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- リボン幅と用紙幅が同じ、もしくは差が少ない場合、シワが発生する場合があります。用紙幅にあったリボンをお使いください。
- リボンの幅方向中心が用紙の幅方向中心からずれている場合、シワが発生することがあります。シワが発生した場合は、リボンストップの位置を微調整してリボンの中心を用紙の中心に合わせてください。
- ご使用リボンの幅によってはリボンモーターの電圧補正が必要になる場合があります。幅の狭いリボンを使用した場合にリボンの巻取り側トルクが強いとリボンシワが発生しますので、システムモードの微調整設定メニューで巻取り側モーター電圧をマイナス方向に、送り側をプラス方向に微調整してください。